

広報

No.165

TABAYAMA 丹波山



大きな自然のポケットです。
山の山の手。丹波山村。

令和元年5月

編集と発行 丹波山村総務課 ■山梨県北都留郡丹波山村890 TEL ■0428-88-0211 FAX ■0428-88-0207
E-mail ■info@vill.tabayama.yamanashi.jp URL ■http://www.vill.tabayama.yamanashi.jp/



東京五輪・パラリンピック 萩原選手と一緒に、旗を振ったよ！

3月15日（金）、東京2020五輪・パラリンピックの大会旗を披露するフラッグツアーが丹波中学校で開かれました。
シドニー五輪競泳女子代表の萩原智子さん（甲府市出身）が来村し、丹波山・小菅両村の小中学生とゲームをしてふれあい、五輪の魅力やスポーツの素晴らしさを語りました。

主なもくじ

平成31年度予算	2～3
村長施政方針	4～7
入学式・入所式	8～9
村議会5月臨時会	12
新村議会議員・地区役員	13
新しい村民のご紹介	14
新年度の行政組織図	15
卒業式・消防団任命式	16

ふるさと納税大幅アップ、2,000 万円計上！

丹波山村の未来のために 3年目の村政運営

平成 31 年度（令和元年度）

一般会計当初予算

15億3,568万9千円

平成31年度一般会計予算は、歳入歳出とも15億3,568万9千円となりました。

厳しい財政状況の中、新たな施策を予算化した結果、前年度に比べ10.3%の増額となりました。

歳入

■ 地方交付税

6億9022万6千円
前年度比 13・5%増額
村収入の大半を占める地方交付税です。

■ 繰入金

3億3520万7千円
前年度比 2・5%減額
財源不足を補うための基金からの取り崩しです。
前年度は庁舎整備基金繰入金があったための減額です。

■ 諸収入

1億6711万3千円
前年度比 10・8%減額
水源林立木に関する交付金や水質保全に係る東京都交付金などがあります。

■ 国県支出金

1億4217万9千円
前年度比 142・9%増額
国や県からの交付金です。負担金は福祉関係の負担金が主なものです。

補助金は地方創生推進交付金が増額されています。
委託金は国民年金や県税徴

収事務の委託金のほか、今年度は山梨県議会議員選挙の委託金などがあります。

■ 村債

9615万6千円
前年度比 14・1%減額
いわゆる村の借金です。

今年度の借入予定は、臨時財政対策債が1915万6千円、過疎対策事業債が7700万円です。

過疎債の内訳は社会福祉協議会運営費2200万円、診療所運営費1000万円、村単教員給与費2000万円、消防署出張所ポンプ車購入費2500万円です。

■ 村税

4648万9千円
前年度比 2・0%増額
皆さんに納めていただく村民税、固定資産税、軽自動車税のほか、たばこ税、のめこい湯の入湯税などです。

■ 寄付金

2000万円
前年度比2252・9%増額
ふるさと納税収入が前年度の85万円から2000万円と大きく伸びています。

■ 使用料及び手数料

1026万7千円
前年度比 1・1%減額
村営住宅や山村留学住宅の家賃収入などです。

歳出

■ 議会費

2827万8千円
前年度比 1・0%増額

■ 総務費

4億7661万3千円
前年度比 64・5%増額
地方創生費に2億1095万2千円を計上しました。

地方創生事業は、

● 水源公園再生事業「川の駅ゾーニングプロジェクト」

● 単身者向け移住促進住宅の建設による空き家の有効活



▲ 予算説明をする船木村長

主要事業

用活性化事業 3706万5千円

●豊かな自然環境と地域資源を活かした丹波山村四季のプログラムづくり 750万円

●村民の健康増進と定期来村者育成のためのヘルスケア推進計画 350万円

●狩猟の村 丹波山 移住推進事業 〓趣・職・住

●総合パッケージ事業 〓 1220万円

●丹波山村をはじめとする7つの小さな村の首都圏拠点事業 812万5千円

●サウナ×災害対策 地方自治体向け災害時連携コミュニティシステムの確立と地域コミュニティ活性化事業 1000万円

●民生費 2億1629万6千円

●衛生費 8533万8千円

●農林水産業費 7296万2千円

前年度比 3・5%増額

前年度比 3・3%増額

前年度比 5・2%増額

商工費

9926万7千円

前年度比 12・0%増額
夏まつり丹波も7月28日(日)に実施することが決定し、現在、実行委員会で内容について検討しています。

●土木費 1億9776万3千円

前年度比 34・9%減額

●消防費 8873万2千円

前年度比 21・8%増額

●教育費 1億2441万8千円

前年度比 2・2%増額

●公債費 1億4102万2千円

前年度比 12・6%増額

●公債費 1億4102万2千円
村の借金である村債の返済です。
平成31年度末の未償還元金残高は、13億3101万2千円となる見込みです。

●海外ホームステイ派遣事業

●丹波山村教育ビジョン策定

●小中一貫校及び併設型校舎の検討

●社会教育事業(一流の芸術鑑賞・スポーツ観戦、七ツ石神社の日本遺産申請)

●人材育成事業

●未来会議と総合戦略検討委員会

●特産品の開発(ジャガイモ焼酎、ビール、サイダー)

●オリジナル飲料助成制度の創設

●学生発案のイベント事業

●農業に関する村単独助成制度創設(舞茸、ワサビ、ソバ)

●子ども医療費助成支給事業(県内医療機関窓口無料化)

●介護サービス特別会計 41万2千円
介護サービスの運営
(前年度比 0.0%同額)

●介護保険特別会計 1億4,061万9千円
介護保険の運営
(前年度比 3.4%増額)

●国保(直診)特別会計 8,650万6千円
医科・歯科診療所の運営
(前年度比 2.6%減額)

●国保(事業)特別会計 1億2,334万5千円
国民健康保険の運営
(前年度比 11.4%増額)

●下水道事業特別会計 1億5,680万4千円
下水道施設の維持管理と施設整備
(前年度比 30.0%減額)

●簡易水道事業特別会計 2億8,400万円
水道施設の維持管理と施設整備
(前年度比 158.5%増額)

●後期高齢者医療会計 1,218万7千円
75歳以上の長寿医療保険の運営
(前年度比 7.7%減額)

●温泉事業特別会計 2億5,134万7千円
丹波山温泉のめこい湯・直売所・道の駅の運営
(前年度比 14.5%増額)

●水源の里事業特別会計 2,626万2千円
つり場・そば処・すべり台など観光施設の運営
(前年度比 2.5%増額)

●奨学資金特別会計 180万4千円
高校・大学進学者への奨学金貸付
(前年度比 49.7%増額)

●有線テレビ特別会計 543万3千円
有線テレビ放送・インターネット施設の運営
(前年度比 41.1%減額)

特別会計
当初予算

●国保(事業)特別会計 1億2,334万5千円
国民健康保険の運営
(前年度比 11.4%増額)

●後期高齢者医療会計 1,218万7千円
75歳以上の長寿医療保険の運営
(前年度比 7.7%減額)

●温泉事業特別会計 2億5,134万7千円
丹波山温泉のめこい湯・直売所・道の駅の運営
(前年度比 14.5%増額)

●国保(直診)特別会計 8,650万6千円
医科・歯科診療所の運営
(前年度比 2.6%減額)

●簡易水道事業特別会計 2億8,400万円
水道施設の維持管理と施設整備
(前年度比 158.5%増額)

●水源の里事業特別会計 2,626万2千円
つり場・そば処・すべり台など観光施設の運営
(前年度比 2.5%増額)

●介護保険特別会計 1億4,061万9千円
介護保険の運営
(前年度比 3.4%増額)

●簡易水道事業特別会計 2億8,400万円
水道施設の維持管理と施設整備
(前年度比 158.5%増額)

●奨学資金特別会計 180万4千円
高校・大学進学者への奨学金貸付
(前年度比 49.7%増額)

●介護サービス特別会計 41万2千円
介護サービスの運営
(前年度比 0.0%同額)

●下水道事業特別会計 1億5,680万4千円
下水道施設の維持管理と施設整備
(前年度比 30.0%減額)

●有線テレビ特別会計 543万3千円
有線テレビ放送・インターネット施設の運営
(前年度比 41.1%減額)

心豊かに安心して暮らせる 丹波山村の実現に向けて

追悼 船木良教村長 村長施政方針の全文



平成31年3月定例議会の開会にあたりまして、新年度の村政運営に對し、まず施政方針を申し上げ、議員各位をはじめ広く村民の皆様の御理解を賜りたいと存じます。

本年4月30日、天皇陛下がご退位され、皇太子殿下が翌5月1日にご即位されます。阪神・淡路大震災、東日本大震災を始めとする大きな自然災害が相次いだ平成の時代。被災地の現場には必ず、天皇、皇后両陛下のお姿がありました。平成は日本人の底力と人々の絆がどれほどまでにパワーを持つか、そのことを示した時代でもありません。明治、大正、昭和、平成、日本人は幾度となく大きな困難に直面しましたが、そのたびに大きな底力を発揮

し、人々が助け合い、力を合わせることで乗り越えてきました。急速に進む少子高齢化、激動する国内・国際情勢の中、私たちの子や孫の世代に輝かしい日本を引き渡すため、共に力を併せ、日本が平成のその先の時代に向かって進みだすことを祈っています。新たな時代を迎える中で、丹波山村長といたしまして、やるべき施策、そして、約束した施策を粛々と進め、この村に住むあらゆる世代の方々がいきいきと過ごすことができる丹波山村の実現を目指してまいります。

さて、私は、平成29年5月に村長に就任させていただきましたが、今年度は折り返しの3年目の村政運営となります。村長就任の際の所信表明におきまして、任期中の村政運営の基本的な方向をお示しいたしましたが、施策実現のため、私はこの2年間努力を惜しまず、自ら先頭に立ち職員を鼓舞しつつ、様々な施策への種まきを行うとともに、新たな施策も積極的に実施してまいりました。村政運営折り返しとなる平成31年度は、これまで私が蒔いてきた施策の種や、芽を出し育ちつつある施策を大きく花開かせるため、全力で邁進してまいります。

私は、村長就任時の所信表明で「丹波山村の未来のために！心豊かに安心して暮らせる丹波山村の実現に向けて」4つの柱を掲げましたが、この約束と「丹波山村まち・ひと・しごと

創生総合戦略」との整合を図りつつ村政を運営してまいりました。私の任期の折り返しとなる平成31年度は、これまで蒔いてきた施策の種や、育ちつつある施策をさらにブラッシュアップするとともに、私の2年間の視察や研修で得た成果を、いよいよ具現化する年であると考えており、老若男女あらゆる世代の方々が「住み続けたい」「訪れたい」と思っていただけける丹波山村の実現に向けて、村民の皆様とともに着実に歩みを進めてまいります。厳しい財政状況にあっても、私が2年前の所信表明で掲げた4つの柱、この柱をぶれることなく重点に据え、事業を推進してまいります。

どこにも負けない教育環境を創設し、人材育成を図ります

私は、この2年間、丹波山村の子どもたちが夢に向かって自らを高め、仲間とともに楽しく学べる環境を創ることの一環として、活きた英語と本物の異文化を体験させるため、2年間にわたり村の小中学生に米軍横田基地での異文化体験を経験させましたが、今年度も引き続き実施してまいります。しかし、これは一時的な体験であることから、もう一歩踏み込み、本物の体験をしてもらおうと考えております。具体的には、実際にアメリカ本土にホームステイをし、現地の学校で授業やボ

ランティアを体験してもらおうとするものです。そのため、来年度予算に「海外ホームステイ短期留学派遣事業費」を盛り込みました。私は、丹波中学校の生徒が在学中にアメリカの家族と生活を共にし、様々な体験を積むことは生徒にとって計り知れないものが身につくと確信しており、将来の大きな夢の実現や魅力ある人間性の確立の糧になることを期待しています。

次に、「丹波山村教育ビジョンの策定」です。変化が激しく不透明な時代において、これまで以上に中長期的な展望に立ち、将来の見通しを持ちながら、村の教育が村民とともに目指す目標を明らかにし、その目標に向かって村、学校、家庭、地域でどう取り組んでいくのかを示すことが求められています。そこで、丹波山村の教育が一人ひとりの可能性を伸ばし、未来を切り拓く力を育むことを願い、今年度中に丹波山村教育ビジョンを策定します。

次に、「小中一貫校及び併設型校舎の検討」です。小中学校それぞれ児童生徒数10名程度のこの村こそ、小学校から中学校までの9年間の義務教育を一貫して、小中併設型の校舎で共に学びあえる環境を作ることがふさわしいと考えております。同時に小中連携型の教育活動を現在の取り組みより一層地域の実情に即したものにしようよう検討してまいります。

次に、「社会教育事業」ですが、子

どもから大人まで、村民の皆様が一流の演劇、音楽、絵画などの芸術鑑賞のほか、スポーツ観戦など本物に接する機会を設け、生涯にわたり楽しみながら学習するための事業を2年間にわたり実施してまいりましたが、今年度も引き続き実施してまいります。また、昨年再建した七ツ石神社は、青梅の「武蔵御岳神社」や秩父の「三峰神社」との要衝である石尾根上にある狼信仰の痕跡を残す社であります。狼信仰は、

青梅の「武蔵御岳神社」、秩父の「三峰神社」のみならず、県内にも数か所確認されております。村では、七ツ石神社の再興を機に、歴史的経緯や地域の風土に根ざし、世代を超えて受け継がれているこれらの狼伝承を取りまとめ、日本遺産に申請するための調査・研究を実施いたします。そして、この村に縁の深い狼及び狼信仰を村のシンボルの一つとして設定し、観光の目玉として活用したいと考えております。すでに、狼をデザインした手ぬぐい、職員の夏のポロシャツへの狼の刺しゅう、狼ラベルの「丹波山ビール」、七ツ石の名称を使用した焼酎「七ツ石」などを製品化しております。今後も狼のデザインを使用した様々なものを商品化する予定ですが、日本遺産申請への弾みになればと考えております。

次に、「人材育成」についてですが、私は、就任時の所信表明で、小中学生の教育環境を充実させるため、大学の

ゼミ合宿などを誘致し、学生と子供たちや村民の交流の場を作り、そのことを通じ双方が学びあい、その中から人材が育成できるような環境を作ることをお約束し、現在まで日々努力を続けております。一方、役場職員や地域おこし協力隊員に対しての人材育成の環境として、12月議会定例会のあいさつの中で、「丹波山村職員の提案及び改善に関する規程」を制定し、提案及び改善報告を募集中の旨を申し上げます。結果27件の応募があり、最優秀賞1件、優良賞4件、努力賞7件、提案賞8件を表彰いたしました。また、年間をとおして優秀な業績を上げた職員等を表彰する「職員業績表彰規程」も制定しており、この先、対象者の自薦又は推薦があることを期待しております。私は、職員等の意見や提案をきちんと受け止めるとともに、事務事業遂行上、顕著な業績を上げたものを表彰という形で認めることが人材育成の基本であると確信しております。そのようなことを踏まえ、私は、平成31年度に村民の皆様や団体等を対象とした「表彰制度」を創設します。長年にわたり様々な分野で丹波山村に貢献いただいたり、貢献している個人や団体の労苦を報いるため、村民を代表し、その功績を表彰しようとするものです。

今後、議員各位の意見等も伺いながら、詳細を決定していく考えておりますのでよろしくお願い申し上げます。

すべての人が心豊かに暮らせる福祉の村づくり

まずは、「子ども医療費の助成支給事業窓口無料化」を実施します。丹波山村に生まれ、育ち、暮らし、そして生涯を終えるという、一生を過ごす過程において、誰もが願うことは、どの時点においても健康で心豊かに、安心して暮らせることを実感できる村であらねばならないということであります。そのため今年度は、この村で、子どもが健やかに成長する際の医療費の負担軽減を図るため、これまで出生してから中学卒業の15歳まで医療費が無料だったものを、18歳に達する年度末までに拡大いたしました。これまで5歳までの乳幼児医療費は窓口で支払うことがないような措置を取ってきたものの、5歳を超えた医療費は一旦窓口払いをしていただいております。しかし、18歳まで同様の措置を取ることが村民の負担軽減につながることから、4月からは県内の医療機関等に受診する場合は、窓口での支払いがないようにいたします。

次に、「丹波山村健康づくりポイントラリー」を創設いたします。現在、村では、病気にかからないための「一次予防」、病気の早期発見・早期治療のための「二次予防」として、集団検診や人間ドック、健康ワークショップ、

社会福祉協議会や生活改善推進委員会
が実施する各種事業を実施していま
す。これらに加え、来年度は、歯周病
を対象とした歯科検診事業も新たに加
えることとしております。これら、様々
な健診事業等に参加していただき、健
診受診率の増加、健康への関心の向上、
運動意識の向上・運動の習慣化、適正
な食生活の習慣化を図っていただくた
め、それら各種事業に参加していただ
いた村民の皆様はポイントを付与し、
貯めたポイントを商工会発行の商品券
と交換できる「丹波山村健康づくりポ
イントラリー事業」を創設いたしま
す。

住む人が誇れる 笑顔のある村づくり

まずは、「未来会議と総合戦略検討
委員会について」ですが、この村には
何ものにも代えがたい素晴らしい自然
環境と暖かい村民性、伝統文化や祭り
のほか、様々な四季の恵みがある一方、
負の遺産ともいえるべき、第2源泉など
の施設も散見されます。これらの財産
の有効活用や今後の村の未来予想図を
自由に語っていただくため、昨年7月
に「丹波山村未来会議」の設置をいた
しました。未来会議はこの1月に4回
目を開催しましたが、会を重ねること
に意見が活発化し、注目すべき様々な
意見が出されております。

私は未来会議の会長とし
てこの会議を牽引してお
ります。提案された意
見を精査し、新たな事業
に結び付けて行く所存で
す。また、数少ない職員
で村の事務事業を推進し
ておりますが、村が抱え
る課題について、課とい
う枠を越えて、様々な意
見集約が図れるよう、職
員、地域おこし協力隊を中心
に「丹波山村総合戦略検討委員会」を
設置しました。この委員会は副村長を
リーダーに「新庁舎建設に関するこ
と」「地域創生に関するこ
と」「その他新規事業の企画立案
に関するこ」とを検討し、その結果を
私に具申することとしておりますが、
すべてのことに関して期待以上の報告
が上がってきており、4月以降の成果
も期待しているところであります。

次に、「特産品の開発」ですが、昨
年度は、青梅市の小澤酒造に「雲取山」
の苗木の村に「デュンケル」「ラガー」
「ピルスナー」の丹波山ビールの製造
を依頼し販売したところ、売れ行きが
好調で、ふるさと納税の返礼品として
も好評を博しております。平成31年度
は村内で収穫されたジャガイモを原料
とした焼酎、ビールを製造することと
してあります。焼酎は芋焼酎の本場、



▲ 村のオリジナル焼酎、日本酒、ビール

鹿児島県の酒造会社に古式甕仕込み
より、ビールは清里の苗木の村に醸造
を依頼する予定であります。さらに、
昨年12月に開催された子ども議会で提
案されたオリジナルサイダーの製造販
売も予定しております。いずれも丹波
山産の原料を使用したオリジナル商品
であり、将来にわたり定着させたいと
考えております。

次に、「丹波山村オリジナル飲料助
成制度の創設」です。これまで販売し
てきた酒、ビール、焼酎のほか、今後、
販売を予定しているサイダーなどを將
来にわたり定着させるためには、村内
の宿泊施設や飲食店にも提供いただ
き、観光客のみならず村民の皆様にも
愛飲していただくことが必要と考
えております。そこで、村内の宿泊施設、
飲食店等で、それらの商品を提供して
いただく場合に、一部を還元させて
いただく「丹波山村オリジナル飲料助
成制度」を創設します。

次に、「学生発案のイベント事業実
施」です。昨年、県民センターの仲介
により県内外の大学生が、村の活性化
のための事業・施策を提案してくれ
る機会がありました。県内外の多くの学
生が村内に宿泊しながら、各班に分か
れ、様々な観点から村を活性化させる
ための事業を提案していただきました
が、素晴らしい提案が多数出されてお
りました。その中心となっていただい
た学生が、今年になって改めて来村し、
新たな提案をいただきました。具体的
な内容は、今後詰めてまいります。私
は、この提案を地方創生交付金を活
用して具現化しよう指示しました。
学生発案の事業が、村と共同開催され
ることを楽しみにしております。

次に、「農業に関する村単独助成制
度の創設」です。荒廃農地の利活用
の一環として、村単独の助成事業を創
設いたします。原木舞茸やワサビ、ソ
バなど、丹波山村ならではの農作物が

りますが、生産量が伸びないことや、高齢化により生産者が少なくなっていることが現状です。一方、舞茸の健康食品としての効果・効能がマスコミで報道されたこともあり、村の原木舞茸の人氣に拍車をかけています。そのため、これまでの農産物への助成制度を改めて周知するとともに、新たな助成制度を創設いたします。このことにより、生産量の増加や後継者の育成につながればと考えております。

安全・安心して暮らせる村づくり

まず、「新庁舎建設について」ですが、昨年3月のこの場で、新庁舎建設に取り組むことをお約束しましたが、昨年4月23日には、議員全員で構成される「丹波山村新庁舎建設特別委員会」を設置いただき、6月議会定例会において、議員全員による発議により、新庁舎の建設場所は「宿」とし、同時にその周辺の再整備を図る旨の「丹波山村役場新庁舎建設に伴う建設場所に関する意見書」が採決され、この内容を盛り込んだ「丹波山村役場新庁舎建設基本構想」が決定しました。その後、計画、設計、発注、施工の各段階において、村の立場に立ってマネジメントを行ってくださる株式会社山下PMCと契約を締結し、現在、新庁舎に必要なニーズの抽出、与条件の整理等を行っ

ております。今後は、建設場所の決定、新庁舎建設基本計画の策定、基本設計、実施設計、工事発注へと事業を進め、平成34年4月の新庁舎運用開始を目指してまいります。新庁舎建設は、村民の皆様が「心豊かに安心して暮らせる丹波山村の実現」のためには必要不可欠の事業であり、今後全力を挙げて推進してまいります。

次に、「移住者、山村留学家族、職員等のための共同住宅建設」についてですが、この村の最大の課題である人口減少対策としては、移住者を増やすことや、山村留学家族を増やすことであると考えます。しかし、それらの希望者が体験宿泊するための施設がなく、移住や山村留学が決定してから家を探す実情であり、職員や地域おこし協力隊への対応も同様となっております。今年度採用した地域おこし協力隊員には、村内業者の宿舎を借り上げて対応していますが、トイレや風呂が共同使用であり、今後、移住者や山村留学家族の受け入れを行う場合、自信をもって提供できる住宅施設の建設は喫緊の課題であります。この課題を解消するため、新年度予算に共同住宅の建築予算を計上させていただきました。

次に、「村内公民館、集会所のトイレの改修」についてですが、村内の集会所や公民館のトイレは、未だに和式のままや、暖房洗浄便座に改修されていない場所が散見されます。各所での集会や打ち合わせ、懇親会などで利用する際に、村民の皆様が快適な環境でトイレが使用できるよう、すべてのトイレを快適なトイレに改修いたします。

最後になりますが、「丹波山村第4次総合計画」「まち・ひと・しごと創生総合戦略人口ビジョン」の見直し及び「丹波山村観光推進計画」の新規策定についてですが、私は、就任以来、従来の計画に沿いつつ、私の掲げたお約束と整合を図りながら事業を進めてまいりました。しかし、「丹波山村第4次総合計画」が後期に入っていること、「まち・ひと・しごと創生総合戦略人口ビジョン」の計画期間が平成31年度までとなっていることから、これらの計画の見直しを図ることにしました。このことにより、私の掲げた「心豊かに安心して暮らせる丹波山村の実現に向けて」の重点施策と整合を図ることが可能となり、施策の具現化がより明確になると考えております。また、これらの計画と重複する

内容もありますが、「丹波山村観光推進計画」も新規に策定する考えであります。これは、村の根幹事業である観光振興施策を、総合戦略や長期総合計画より一層深く切り込んだ実施計画的なものにしたいと考えるからであります。これらの計画を「絵に描いた餅」にしないよう、しっかりとスタッフにより、実現可能な丹波山村の未来予想図を立案してまいります。

以上、諸々述べました事務事業を、ひとつひとつ着実に積み重ね、村民の皆様が納得いただけるような村政を推進してまいります。議員各位をはじめ、村民の皆様のご支援、ご協力を心からお願い申し上げます。私の施政方針を終らせていただきます。

船木良教村長が死去

船木村長は、去る平成31年4月22日、午前8時39分、青梅市内の病院にて心筋梗塞のため亡くなりました。満66歳でした。

船木村長は、平成29年4月の村長選挙において無投票で初当選し、第38代村長に就任しました。

基本姿勢として、「心豊かに安心して暮らせる丹波山村の実現に向けて」に全力を尽くされ、教育環境の創設と人材育成に重点をおいた政策を展開し、村の発展に大きく貢献しました。

謹んでお悔やみを申し上げます。

丹波小入学式



4月5日（金）、丹波小学校入学式が行われました。
 新1年生は、小原柚芽ちゃん（奥秋・悟さん）ひとりですが、
 元気いっぱいにお返事をして、小学生の仲間入りをしました。
 今日はちょっとおめかし、校長先生のお話にも、お行儀良く聞いて
 いました。かわいい笑顔が、校庭いっぱい春を呼んできました。

（ ）内は地区、保護者名



▲ ちょっと緊張気味の柚芽ちゃんです



▶ お父さん、お母さん、先生方と一緒に

丹波中入学式

4月5日（金）、丹波中学校入学式が行われました。
 男子1名、女子3名の新入生が、真新しい制服に身
 を包み、新たなスタートを切りました。スポーツや
 勉強、部活動や丹波中伝統の全校音楽など、新し
 いことにチャレンジして、大きく、たくましく成長し
 てもらいたいと思います。

（ ）内は地区、保護者名



▲ ご両親、先生方と一緒に



岡部菜々美さん
 (保之瀬・晃さん)



鶴田知宏くん
 (高尾・宏幸さん)



平井ハンナさん
 (高尾・義浩さん)



堀口結菜さん
 (上組・純さん)

4月3日(水)、丹波保育所入所式が行われました。今年7人の新しいお友だち。これからみんな一緒に、元気に遊んで、大きな声で歌って、踊って、大きく成長していただきたいです。お子さんにとっても、保護者の皆さんにとっても、安心できる保育所でありたいと願っています。

○内の数字は年齢 ()内は地区、保護者名

保育所入所式



▲ 村長さんと一緒に、元気いっぱいです！



酒井隆玄くん ②
(中組・隆幸さん)



守岡音桜葉ちゃん ③
(押垣外・辰之さん)



岡部杏奈ちゃん ②
(奥秋・直也さん)



嶋崎 廉くん ①
(奥秋・竜馬さん)



佐上文香ちゃん ⑤
(押垣外・香代さん)



東海林紗夏ちゃん ③
(上組・哲夫さん)



藤原ななみちゃん ②
(上組・健次さん)

★ご長寿、おめでとうございます★

2 人の方が 90 歳の誕生日を迎えられ、村と老人クラブから記念品が贈られました。

当日は、訪問した村長、老人クラブ会長と楽しそうに昔話をされていました。これからも健康にご留意をされ、いつまでもお元気でいてください。



嶋崎シゲさん（高尾） 4月8日



青柳てる代さん（高尾） 5月14日

民生委員・児童委員の活動について

5月12日は「民生委員・児童委員の日」です。村内の各地区には、民生委員・児童委員が9人、地域全体に主任児童委員が1人います。

地域の皆様の安全、安心のために、行政や関係機関と連携を図りながら活動しています。

民生委員・児童委員は高齢者の見守りや心配ごと相談などを行い、主任児童委員は、子どもと子育て家庭の支援を行っています。何かありましたら、各地区の民生委員・児童委員や主任児童委員にお気軽にご相談ください。

各地区の民生委員がご不明の時は、住民生活課にお問い合わせください。



平成31年度 心配ごと相談日程

実施予定日	時 間	場 所
平成31年 4月11日（木）	13:30～15:30	高齢者生活福祉センター
令和元年 5月9日（木）	13:30～15:30	高齢者生活福祉センター
6月3日（月）	14:00～16:00	丹波小学校体育館下和室
7月11日（木）	13:30～15:30	高齢者生活福祉センター
8月8日（木）	13:30～15:30	高齢者生活福祉センター
9月12日（木）	13:30～15:30	高齢者生活福祉センター
10月10日（木）	13:30～15:30	高齢者生活福祉センター
11月14日（木）	13:30～15:30	高齢者生活福祉センター
12月2日（月）	14:00～16:00	丹波小学校体育館下和室
令和2年 1月9日（木）	13:30～15:30	高齢者生活福祉センター
2月13日（木）	13:30～15:30	高齢者生活福祉センター
3月12日（木）	13:30～15:30	高齢者生活福祉センター

お知らせ Information

小俣消防副士長
最優秀賞を受賞

2月4日、甲府市総合市民会館において「第42回山梨県消防職員意見発表会」が開催され、大月市消防署丹波山出張所の小俣広樹消防副士長の発表「シンプル」が最優秀賞を受賞しました。

県内の消防本部から約20人の発表者が出場し、業務に対する提言や取り組み課題等について発表されました。

4月に開催された関東支部消防職員意見発表会に山梨県代表として出場しました。



薬物乱用は
「ダメ。ゼツタイ。」

薬物乱用をめぐる事件が依然として相次いでいます。近年は、特に若者を中心に大麻による検挙者が急増しています。

薬物乱用とは、薬物を本来の医療目的から逸脱した方法で不正に使用することです。覚せい剤、MDMA等合成麻薬や大麻等は法律によって所持、販売、生産が禁止されている薬物です。また、違法薬物の使用は、たとえ一回だけでも「乱用」になるとともに、法律で「犯罪」とされています。

違法薬物の使用には依存性があり、本人の脳や体を破壊し、使用する前の体に戻ることはできません。また、大切な家族の人生にまで大きな影響を与えます。自分自身のために、大切な人のために違法薬物を拒絶する強い意志を持ちましょう。

国及び県では、新国連薬物乱用根絶宣言の支援事業として、6月20日から7月19日までの一か月間「ダメ。ゼツタイ。」普及運動を展開します。違法薬物の恐ろしさを正しく理解するとともに、身近な人の薬物乱用に気付いたときは、勇気をもって相談してください。

▼問い合わせ先

富士・東部保健所 衛生課
0555(24)9033



平成31年度
「丹波山村教育ビジョン」
を策定します。

村の現況は、さらなる少子高齢化の進行が予想される中、丹波山村が目指す子どもたちの姿を実現し、より良い学校教育を発展させ、その結果が地域全体に良い影響をもたらすという観点から、新しい学校づくりに向けた環境整備について具体的に検討を進め、すべての村民が生涯学び続け、いきいきと暮らしていける“人が輝く丹波山の教育”を柱にしながら、将来的に推進していく「教育ビジョン」の策定を進めています。



▲ 5月10日、第1回策定委員会を開催しました。

丹波山村長選挙

船木良教村長の死去に伴う丹波山村長選挙は、6月4日告示、6月9日投開票です。

投票日 令和元年 6月9日(日)

- 投票所 ▶ 第1投票所 丹波山村役場
時間：午前7時00分～午後6時00分
- ▶ 第2投票所 鴨沢公民館
時間：午前7時00分～午後6時00分

期日前投票

- ▶ 期 間 令和元年6月5日(水)～6月8日(土)までの4日間
時間：午前8時30分～午後8時00分
- ▶ 場 所 丹波山村役場 相談室

12年ぶり議員定数を削減、同時に議員報酬も引き上げ!

村 議 会

5月臨時会

村議会5月臨時会は、5月8日に開会し、同日閉会いたしました。

村議会議員選挙後、初の議会開会となり、正副議長の選挙、各常任委員会等委員も選任されました。

審議された案件は、令和元年度一般会計補正予算と監査委員選任の2件の議案が提出され、すべて原案のとおり可決されました。



▲挙手による採択の結果可決されました(3月議会)

■一般会計補正予算

令和元年度一般会計補正予算(第1回)は、207万円を追加し、補正後の予算額は15億3775万9千円となりました。

▼歳入は、

繰越金 207万円

前年度からの繰越金です。

▼歳出は、

総務費 207万円

6月9日に執行される丹波山村長選挙の経費です。投開票の管理者や立会人の報酬、職員手当などが主なものです。

丹波山村議会議員定数の推移(戦後)

	選挙の有無	議員定数	当時の人口(4月1日)	議長選出※
昭和22年4月	選挙	12人	※ 2,133人	中村 正文
昭和26年4月	増員 無投票	16人	※ 2,180人	中村 正文
昭和30年4月	無投票	16人	※ 2,302人	中村 正文
昭和34年4月	選挙	16人	※ 2,261人	中村 正文
昭和38年4月	選挙	16人	※ 2,224人	岡部利喜男
昭和42年4月	削減 無投票	12人	※ 1,824人	守屋 幸夫
昭和46年4月	選挙	12人	1,677人	守屋 幸夫
昭和50年4月	無投票	12人	1,511人	河村 勇
昭和54年4月	選挙	12人	1,350人	守屋 武彦
昭和58年4月	選挙	12人	1,266人	守屋 武彦
昭和62年4月	無投票	12人	1,182人	酒井 耐伍
平成3年4月	選挙	12人	1,079人	芦澤 幸榮
平成7年4月	無投票	12人	1,025人	芦澤 幸榮
平成11年4月	削減 選挙	10人	969人	木下香奈子
平成15年4月	無投票	10人	908人	木下香奈子
平成19年4月	削減 選挙	8人	798人	守屋 茂久
平成23年4月	選挙	8人	691人	守屋 茂久
平成27年4月	無投票	8人	597人	白木 昭一
平成31年4月	削減 選挙	6人	565人	嶋崎 義人

※印は直近の国勢調査及び推計人口、議長は任期最初に選出された者

■村長・副村長・教育長、村議会議員の報酬、給与が改正されました。

平成31年3月6日に開会した、村議会3月定例会において、「丹波山村議会議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正」、及び「丹波山村長、副村長及び教育長の給与等に関する条例の一部改正」の議案が提出され、下表のとおり改正されました。

どちらも丹波山村特別職報酬等審議会の答申を受け改正を行うものです。

村長等の給与(月額 単位:円)

	改正前	改正後
村 長	500,000	520,000
副村長	400,000	440,000
教育長	400,000	420,000

※平成31年4月1日から適用

村議会議員の報酬(月額 単位:円)

	改正前	改正後
議 長	190,000	215,000
副議長	158,000	183,000
議 員	135,000	160,000

※令和元年5月1日から適用

新しい村議会議員の紹介



嶋崎義人 ④

議長・山梨県東部広域連合議員・山梨県後期高齢者医療広域連合議員



守屋保志 ②

副議長・議会運営副委員長・庁舎建設特別副委員長

議長に嶋崎義人氏
副議長に守屋保志氏
監査委員に守屋旭氏

平成 31 年 4 月 21 日（日）、村議会議員一般選挙が執行されました。

今回の選挙から、定数が 6 人に削減され、現職 4 人と新人 3 人が立候補、8 年ぶりの選挙戦になりました。投票率は 91.94%、任期は令和元年 5 月 1 日から令和 5 年 4 月 30 日までです。

敬称略 ○内の数字は任期数



守屋 旭 ①

監査委員・厚生経済常任副委員長



廣瀬直照 ①

厚生経済常任委員長・議会運営委員



酒井隆幸 ②

総務教育常任副委員長・議会運営委員長・庁舎建設特別委員長



白木昭一 ⑧

総務教育常任委員長

令和元年度 各地区役員名簿

(敬称略)

地 区	区 長	区長代理	自主防災会長	育成会	スポーツ推進員	隣 保 長
奥 秋	木下 和彦	岡部 栄久	木下 浩一	嶋崎 竜馬	瀧本 清明 嶋崎八重美	1 木下 利博 2 岡部 秀樹 3 木下 武久 4 岡崎淳一郎 5 青柳香代子 6 木下 和彦 7 嶋崎 竜馬
上 組	白木 昭一	芦澤 公好	白木 昭一	小原 由美	嶋崎 竜馬 守屋真由美	1 白木 昭一 2 芦澤 公好
中 組	酒井 隆幸	清水 善明	藤原 貢	守屋 美鈴	守岡 公寿 守岡 美香	1 坂本 求 2 藤原 貢 3 吉村 一彦 4 守屋 富重
下 組	河村 春樹	芦澤将一郎	芦澤将一郎	芦澤将一郎	岡部 英利 酒井 勝平	1 伊藤 巖 2 河村 春樹 3 船木 進五 4 芦澤千恵子 5 廣瀬 直照
高 尾	青柳 敏彦	酒井 新吉	榎澤千代男	嶋崎まさ江	浅井 由紀 小川 理恵	1 田中 雄二 2 吉村 好一 3 吉村 実 4 唐澤 文夫 5 白木 道雄
押垣外	船木 正之	芦澤 泰士	岡部 薫	守岡 辰之	船木 政和 佐藤 駿一	1 青柳 和夫 2 岡部モト子 3 岡部 政幸
保之瀬	船木 秀恭	長谷川達弥	岡部 清	船木みゆき	岡部 晃 岡部 雅敏	1 長谷川達弥 2 小林 弘幸 3 河村 豊作
東 部	吉野はやと	岡部 隆一 青柳スミ子 小林 敏男	河村 直樹	-	岡部 隆一 河村八重子	1 青柳トシ子 2 嶋崎 晃 3 酒井 正光 4 伊藤 旭 5 嶋崎三千男 6 青柳スミ子 7 酒井きぬ子

春は新しい出会いの季節です!

新しいおまわりさん

藤原健次さんです

丹波駐在所に新しいおまわりさんが赴任されました。

藤原警部補は、昭和町出身の29歳、奥様と保育所児のななみちゃんと一緒に移住してきました。



新しい消防出張所長

安藤 貢さんです

大月消防署丹波出張所の所長として赴任されました。

安藤所長は、大月市富浜町在住の54歳、特技は柔道3段の腕前、趣味はスポーツ観戦です。



新しい役場職員

堀内麗暖れのんです

4月1日付けで、教育委員会に配属になり、社会教育と情報化事務などを担当いたします。

甲斐市竜王出身の21歳、奥秋地区に移住してきました。



新しい役場職員

木下真一まさひとです

4月1日付けで、住民生活課に配属になり、国民健康保険と後期高齢者医療事務、老人クラブなどを担当いたします。

奥秋地区の26歳、木下修一さんの長男です。



山梨県広報協会主催の平成30年度県広報コンクールにおいて、広報紙部門・町村の部で「広報丹波山 No161・平成30年2月号」が最優秀賞に選ばれました。

広報丹波山は、これまで「奨励賞」が4度ありましたが、「最優秀賞」は初めての受賞です。

応募総数は、広報紙23点、写真55点、映像5点、議会広報紙20点。

お松引きと成人式の特集記事、誌面レイアウトと見出しの工夫などが評価されました。

【広報紙部門】

市の部 広報やまなし（山梨市）

町村の部 広報丹波山（丹波山村）

【写真部門】

広報やまなし（山梨市）

広報いちかわみさと（市川三郷町）

【映像部門 最優秀賞】

早川町観光PR動画（早川町）

【議会広報紙部門 最優秀賞】

上野原市議会だより（上野原市）

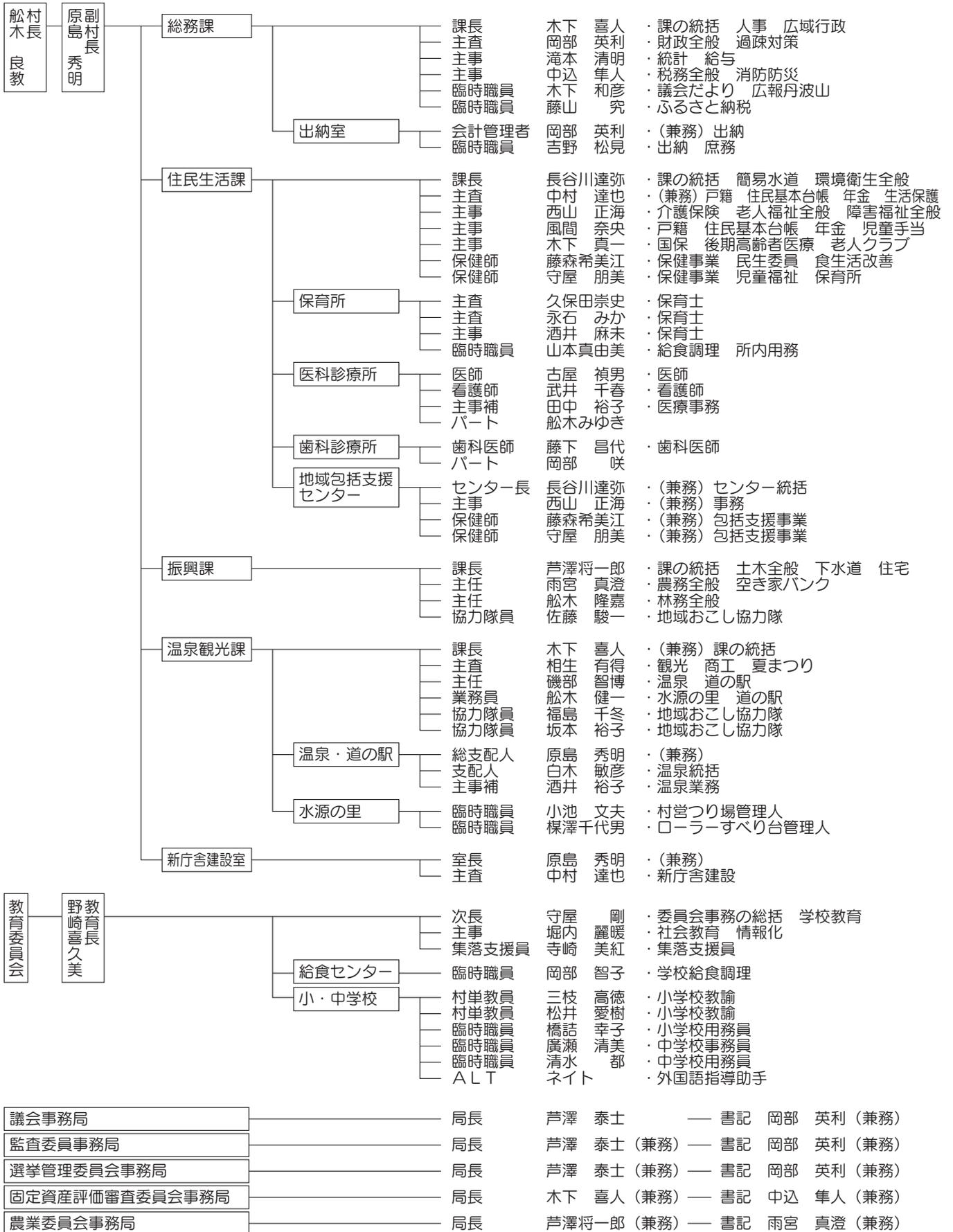
議会だよりしょうわ（昭和町）

▶ 最優秀賞を受賞した作品



広報丹波山
最優秀賞を受賞

平成31年度 丹波山村行政組織図 (平成31年 4月 1日現在)



丹波中卒業式

3月12日（火）、丹波中学校卒業式が行なわれました。男子3名、女子1名の卒業生が、希望を胸に、それぞれの道に向かい巣立っていきました。丹波中学校の卒業証書授与式は、今年で72回を数えます。高校へ行って頑張ってください。



おお我ら、
理想の峰を
越えてはばたく



▲ 卒業証書授与

卒業生（ ）内は地区、保護者名
※写真、前列向かって左2人目から
芦澤優輝くん（下組・将一郎さん）
岡崎真公さん（高尾・幸子さん）
守岡響希くん（押垣外・辰之さん）
守屋瑠唯くん（高尾・秀寿さん）



▶ お世話になった先生方、ご両親と一緒に

消防団任命式

副団長に小池文夫さん

4月1日（月）、郷土民俗資料館において、平成31年度丹波山村消防団任命式が挙行されました。

今年度の退団者は1名、新入団員は4名。

新たに、上組地区の小池文夫さんが副団長に任命され、嶋崎義人団長の下、一致団結して取り組んでいきます。（順不同、敬称略）



▲ 副団長に小池文夫さんが任命されました

- | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------|---------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-----------------|-------|----------|-----------|-----------|-----------|--------|
| 第二部専任班長 | 第一部専任班長 | 第一部長 | 副団長 | 副団長 | 副団長 | 団長 | 【新幹部】 | 友井 啓太（鴨沢・第一部団員） | 【退団者】 | 藤山 究（奥秋） | 貫名真太郎（下組） | 木下 真一（奥秋） | 堀内 麗暖（奥秋） | 【新入団員】 |
| 守屋 隆剛 | 酒井 隆幸 | 岡部 直也 | 守岡 辰之 | 守屋 保志 | 橋詰 昭人 | 小池 文夫 | 嶋崎 義人 | | | | | | | |



▲ 新入団員へ辞令が交付されました